

平成 2 5 年度
技術監理室予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 5 年度技術監理室予算要求総括表及び経営方針・・・ 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・ 3

1 平成25年度技術監理室予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成25年度技術監理室予算要求総括表

【一般会計】

平成25年度要求総額 112,540千円
 (平成24年度予算額 91,268千円)
 前年度比 +23.3%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成25年度 予算要求額 (A)	平成24年度 予算額 (B)	増減 (A - B)
新積算システムの 改造業務	10,000	0	10,000
新社会インフラ データのGIS 化業務	10,000	0	10,000
新建設材料試験 場の耐震診断 業務	2,010	0	2,010
新車両更新	2,600	0	2,600
技術管理関連業 務	67,739	69,550	1,811
建設材料試験場 管理運営事業	12,080	12,080	0

(2) 平成 2 5 年度技術監理室経営方針

技術監理室は、建設行政の様々な課題に対し、建設系事業部局を技術面や人材面などを含めて総括的に支援・指導する組織です。

平成 2 5 年度も、公共工事の品質確保や、建設行政コストの抑制などに取り組みます。

公共工事の品質確保

- ・ 公共工事の適正な執行を図るため、設計単価の設定及び設計積算基準等の整備、更新に取り組みます。
- ・ 公共工事の発注に際しては、価格に加え品質を高めるための創意工夫や施工実績などの要素を評価して落札者を決定する総合評価落札方式に取り組みます。
- ・ 公共工事の設計、施工のチェック機能を的確に発揮し、公共工事の品質や安全性の確保・向上を図ります。

持続可能な循環型社会の構築

- ・ 公共工事において、環境に配慮するとともに、建設副産物の再資源化やリサイクル資材の利用促進により建設リサイクルの推進を図り、資源循環型社会への転換に取り組みます。

公共事業のコスト構造改善・効率化

- ・ コストと品質の両面を重視する「公共事業コスト構造改善第四次行動計画」により、工事コストやライフサイクルコスト等の改善に取り組むとともに、計画的な維持管理を推進するなど、公共事業の最適化・効率化に取り組みます。

技術職員の人材育成

- ・ 次世代を担う技術人材の育成に取り組みます。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

- (1) 市場動向を適切に反映した工事資材単価の設定と、施工実態を反映した設計積算基準等の整備により、適正な工事価格の設定に努めます。
- (2) 総合評価落札方式に継続的に取り組むとともに、より優良な社会資本の整備が図られるよう評価項目を検討するなど制度の充実を図ります。
- (3) 完成後の工事検査だけでなく、中間技術検査や安全点検などにより施工中の工事を監理し、必要な指導を行うことで公共工事の品質向上を図ります。
- (4) 社会インフラの計画的維持管理を推進し、公共施設の維持管理の効率化やライフサイクルコスト構造の改善に取り組めます。
- (5) 実習形式の研修を重点的に実施し、より実務に即したノウハウの習得を図り職員の技術力維持向上に努めます。